

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービス こどものやかたpark

支援プログラム（放課後デイサービス）

作成日

2025 年 2 月 1 日

法人（事業所）理念		障害福祉事業に携わる法人として、優秀な支援者を排出し続け、将来の障害児支援環境を支え続けられる社会資源となる。											
支援方針		・児童が日常生活における基本的動作及び知識技能を身に着け、集団生活に適應することができるよう、その児童の身体や精神の状況、置かれている環境に応じて、適切で効果的な支援を行います。 ・事業の実施に当たっては、児童や利用者の希望を尊重した事業の提供ができるよう努めます。 ・事業の実施に当たっては、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、関係市町村等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。											
営業時間		13 時		0 分		16 時		30 分		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・健康状態を把握する ・基本的生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理等ができるようにする。 ・時間や空間が子どもにわかりやすいように構造化等により生活環境を整える。 【活動、支援内容：健康チェック・目隠しや仕切りなどの環境の調整・視覚支援（スケジュールや手順の掲示）・入退室時の持ち物の片付けや準備、忘れ物確認・身だしなみや清潔の確認など】											
	運動・感覚	・様々な遊びや課題を通して、身体や手先の使い方のコツを伝える。 ・子どもの運動機能や感覚の違い（敏感・鈍感）に合わせて課題を調整する。 ・力の入れ方や休息の取り方などの調整を促す。 【活動、支援内容：様々な感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前覚等）を取り入れた遊び、感覚の感じ方への配慮・好ましい道具の扱い方等の絵カードや声掛け、力の入れ方の視覚化等】											
	認知・行動	・時間、空間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげる。 ・自分の得意なことや苦手なことを知り、自己理解をしていくことを促す。 ・自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど、適切な行動への対応の支援を行う。 【活動、支援内容：小集団遊びにおける認知の偏りへの配慮・視覚支援（スケジュールや手順の掲示、自分で見て確認・行動することを促す）・概念形成や学習を促す教材・好ましい行動の事前予告など】											
	言語コミュニケーション	・自分の思いや要求の相手への伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやり取りを促す。 ・机上課題などを取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き工場のための支援を行う。 【活動、支援内容：プリントなどの課題・自己理解や振り返りでの人前での発表・小集団遊びにおける場面設定】											
	人間関係社会性	・活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友だちとの協同や集団遊びへの取り組みややり取りを通して、適切な人間関係の形成を促す。 ・他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適應するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援する。 ・自分の気持ちや感情などに関心を持ち、情緒の安定を図る。 【活動、支援内容：勝敗のある課題設定・SST・友だちとのやり取りや交渉・好ましい行動の事前予告・気持ちのコントロール・行動を認めて自尊心を高める等】											
家族支援		・保護者が子どもの特性を理解し、適切な関わり方ができるように支援する。 ・子育ての不安や悩みを早期に解消し、保護者の精神安定を図る。 ・保護者同士の交流を深め、楽しく子育てできる環境を作る。 ・家族に対する相談援助を行う。						移行支援		・地域の保育や教育を受けられるように、移行先と支援内容や子どもの状態、保護者の移行についての伝達を行う。 ・進路や移行先の選択についての相談援助を行う。			
地域支援・地域連携		・子どもや家庭に係る関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する会議に出席する。						職員の質の向上		・毎月職員研修を実施する。また、視覚の取得や専門的な研修会へ参加する等、自己研鑽を図り、支援者の質の向上に努める。			
主な行事等		年間行事 夏祭り・芋うえ、芋ほり・JR電車体験・ハロウィンパーティー・クリスマス会・避難訓練（年2回以上）・進級式 等											